

2019年3月5日

国立大学法人東京医科歯科大学
学長 吉澤 靖之 殿

医学部附属病院監査委員会

2018年度第2回医学部附属病院監査委員会の結果報告について

国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院監査委員会規則に基づき、下記のとおり監査を実施しましたので報告いたします。

1. 監査の時期

2019年1月25日（金）

2. 監査の方法

医学部附属病院の安全管理体制等について、医学部附属病院管理者、医療安全管理責任者、医療安全管理部長、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者へのヒアリングを行った。

3. 過去の指摘事項等について

（2018年度第1回監査委員会より）

事故発生直後に再発防止策を講じる等、病院長をはじめ貴院の医療安全に対する高い意識や真摯に向き合う姿勢を垣間見ることができた。しかしながら、このような点に関して院外からの認識を高めるため、外部へ情報配信をするべきであろう。

患者家族は接する医療従事者の対応で医療機関の印象を判断するため、現場の医療従事者への医療安全に関する意識や姿勢の浸透度合いを把握しておくことで、より一層の患者家族の安心安全の確保や貴院のさらなる発展を促すことが期待されると考える。

（対応状況）

監査結果を共有し、今後の医療提供体制の充実化へ役立てることとした。

4. 監査の結果

DNRの表示について、事例を通じて改善案や対策案を検討している点はとても素晴らしい。しかし、電子カルテの記載が古くなるとコメントが順送りで下へ移動してしまい、確認のためにスクロールが必要で時間を要するため、一目でわかるような表示場所や確認頻度等について、今後も検討を続けてほしい。

以上